



この夏 まだ見ぬ すんくじら

※「すんくじら」とは、大隅の言葉で「はしっこ」の意味

大隅から開聞岳を望む夕景
錦江湾をばさんで薩摩半島を対岸
に望む大隅半島。大隅半島から見える
開聞岳は存在感があり、特に夕焼けは
息をのむほどの美しさ。

神川大滝
幅30m、高さ25mの滝が豪快に
しぶきをあげる。遊歩道を歩いて
「虹の吊橋・大滝橋」まで登ると、
高さ68mからの絶景が広がり、
全長130mの空中散歩が楽しめる。
住所/鹿児島県肝属郡
錦江町神川2382
電話/0994-25-2511
(錦江町役場田代支所
観光交流課)



ロケット基地がひかえている。いず
れも大隅という原石の静寂の中に溶
け込み、時代を超え、封じ込まれて
しまっているように思えるのである。
ダイナミックな地球がここにあり



千畳敷に水の花咲く「花瀬川」
鹿児島県立自然公園を流れる花瀬川は、川床
が約2kmにわたり、千畳敷の石畳が敷かれた
ようになっている。指宿カルデラからの平滑な
溶結凝灰岩による。さざ波が白い花のように
見えることから、古くより「花瀬」と呼ばれる。
その絶景に島津斉彬公もたびたび訪れ、風景
を愛で、曲水の宴を楽しんだという記録も残る。
花瀬公園には、遊歩道やキャンプ場、釣り場、
花瀬でんしろ館などの施設があり、日が一
日楽しめる、夏の涼を感じるスポットである。
住所/鹿児島県肝属郡錦江町田代川原花瀬
電話/0994-25-3838 (でんしろ館)



奥花瀬
花瀬自然公園を奥へ進むと、森に包
まれた溪流が現れる。溪流を利用し
たマス釣り場なども整備されている。
住所/鹿児島県肝属郡錦江町田代
電話/0994-25-2511
(錦江町役場田代支所観光交流課)

ただ、手を入れないことを許さぬ聖
地の威厳が、いつの世にもこの地に君臨
し、磨き上げられることを拒み、地球は
地球であることを主張してきた。
しかし、かくも雄大な大地に、新し
い風が吹き始めた。風をおこな人がそ
と仕掛けていた。新しい海の道。
実は新しい。太古より人は海を道
としていた。島津と肝付を結ぶ海の道は、
湊と人をつなぐだけでなく、時もつな
いでゆく。薩摩半島の指宿港と南大隅の
根占港を高速船でつなぐ新ルートは、大
隅の荘厳な原石の上に、そっと素敵な人
たちを下ろしてくれよう。



「うんめもの会」の皆さんは、地元・錦江町
の食材を使い、漬物や弁当、「けせん団子」な
ど古くから食べ継がれてきた郷土料理を中心
に作り続けている元気な婦人加工グループ

そう、気圧が低いところから高い所に
風が吹くように。大隅という手付かずの
大地に、新しい風が吹きはじめた。

大隅の持つ威厳を残したままに、あた
かも暮らすように旅をする旅人たちが、
住んでいる人たちと同じリズムで、深
く、ゆったりと、その土地の暮らしを味
わっていく。食、なりわい、文化、地域
性をまるで呼吸をするかのように、ごく
自然に体の中に取り入れていく。そんな
旅人たちが、大隅半島をめぐる始めた。
旅をしながら、自分さが求めている
ような、そんな旅の学びを求めて。まだ
見ぬ「すんくじら」を行く。

こうした旅のことを、エコツーリズム
という。暮らすように旅する。旅するよ
うに暮らす。エコツーリズムとは単なる
「体験観光」ではない。地球を知る旅で
あり、自分が何を守られて生きているの
か、自分は何を守り、後世に残して生き
たいのかを知り、自分ならではのイデオ
ロギーを作る旅なのだ。

あなたもこの夏、大隅の大地を培って
きた土の人たちと触れ合う風土の旅「風
土ツーリズム」に出かけ、風の人になっ
てみませんか？この夏、まだ見ぬ「すん
くじら」があなたをじっと待っています。

（旅アドバイザー）代表
地域交流課 みちくさ 編集長

／福永栄子



スタジイ・タブなどの照葉樹林が現存する
南大隅地域

時間が止まっている。微動だにしない。
眠れる獅子のように、静かにその底力を
蓄積しながら、日本の原風景を守り抜い
てきた、大隅半島。

太古の昔より続いてきた深い緑の大地
手つかずの海岸線を残す、日本最南端の
聖地・佐多岬。

大地の割れ目から怒涛のように落ちる
神川大滝。

時を超え、今に神の御世を伝える吾平
山上陵。修験者が出てきたそうなお山から
激しく滑り落ちる溪流が、夏の涼を感じ
させる猿ヶ城渓谷。

特に宣伝されることもないが、実際は
世界に誇ることができるほど美しい照葉
の森の煌き。鳥がさえずり、その中で暮
らす大地の人たちがいる。

「時」が大隅の大地に刻んできた人々の
暮らし風景。

磨くのを畏れるかのように、そっと手
付かずで守られてきた、まるで原石のよ
うな大地は、外來者を惹きつけ引き寄せ
ては、容易には近づけてくれない。

大隅、飾り気のない楽園

詩人 岡田哲也

ひと昔前、山川から根占へ、フェリー
に乗った時のことだ。勾玉の形をした
山川湾を出ると、根占の山なみの肩間
とおぼしきあたり、瘤のような岩山
が見えた。あの山は、と私は隣の老人
に尋ねた。すると岩のようにぼそりと
彼が答えた。タツガンじゃー。
私はその時始めて、立神は海の中
だけでなく、丘にもあるのだと知った。
錦江湾の座蒲団の上には、高隈連峰や
桜島がすでんと座り、振りかえれば開
聞岳や薩摩半島の山々の稜線が、撫で
肩で空と接していた。私は、俺が国造
りの神様なら、この景色を見れば、ウ
ン、こはいいとすぐに降臨するだろう
な、と思った。



錦江湾をばさんで、薩摩半島は手弱
女ぶりであり、大隅半島は益荒男ぶり
である。佐多から内之浦に至る海岸線
は、黒潮の刃で削りとりられたような断
崖が続く。大地の畏のようなあちこち
の滝。容赦のない自然や陽光。まことに
益荒男そのものだ。
大根占の城元でひと息ついた時、私の
口を衝いて来た言葉があった。
「風が空をなでると雲になり
人が大地をなでると暮らになる」

風の人

大隅地域振興局長・鹿児島県
商工労働水産部長を経て、観
光連盟の専務理事になられた
熱血漢。鹿児島市、指宿市、霧
島市をハブとして、観光と暮ら
し、商工農林水産業すべてを
つなぐ、まさに「風の人」。



鹿児島県観光連盟専務理事
白橋大信さん

たといえば後冠と呼ばれた海の男たちの
港・波見港と、その横には、宇宙と対話
する現代の最先端技術や科学を結集した



岸良展望所
白い砂浜とエメラルドグリーン
に輝く海が美しく、ウミガメの
上陸地としても知られている。
住所/鹿児島県肝属郡
肝付町岸良1184-3
電話/0994-67-2116
(肝付町役場産業創出課)

大隅には手つかずの自然や資源があ
るといふより、人々は田畑を耕し、海
に出、山に入って生計を立てることに
もつと手を使い、心血を注いだこと
のどと思つた。
だから観光地としての大隅は荒削り
だ。飾り気のない楽園といつていい。
しかし、それじゃあ物足りないとか、
地元だって潤わないという意見もある
だろう。
ただ私は、空をなでる風よりも悠久
に、土をなでる人の手よりも丹精に
この荒削りの原石の手を加えてもら
いたいと思う。魅力とは、いかに見せる
かだ。そしていかに見せるかとは、時
として、いかに隠すかから。

(編集長より)

「風が空をなでると雲になり
人が大地をなでると暮らになる」
大自然と暮らす人々の姿を感じず
にはいられない大根占の時。この詩は
城元展望所の案内板に明かされて、
風と土のハートモーターを的確につかんで、
岡田哲也さんの感性には、いつも
ながら心動かされるものがある。
大隅という荒削りの大地にむかい、
太古より懸命に生を繰り返してきた人
間のいとみなみ愛おしく感じられる。

この魅力こそ、この地のもつ一番の
財なのだ。いつまでも思っている。私
だけではないのだという感動は嬉しい。
大隅だけではない。九州背山山地
や南九州を旅するときに感じる。日
本人の「けなげで力強い生き方」「自
然への畏怖と感謝の心」。
人が土に向かい、時が静かに暮らし
をつむぐ。風は時空をこえ、森羅万象
多くを見てきたのだろうな。大隅の大
自然を駆け抜ける風を聞き、先
人たちの暮らしを感じながら、心静か
なる旅。今日もしたいものである。
みちくさ編集長 福永 栄子

鹿児島県

宮崎県

利用期間 2018年 2/15まで

おすすめ 暮らし体験 お試し券

普通車小型クラス **3,500円** 10時間乗り放題!

しぶしレンタカー

■住所/鹿児島県志布志市有明野井倉 8436-1
■電話/099-477-2308
■営業/8:00~18:00 ■定休日/不定休

この夏 まだ見ぬ 「ずんくじら」 海を渡る 大隅の旅

~みちくサルート~

海へ、山へ。「ずんくじら」大隅を満喫する旅に出かけよう!

ROUTE 1 本土最南端 佐多岬と花瀬公園

指宿港 → 根占港 → 佐多岬 → 佐多岬(区) → 花瀬公園 → 花瀬公園 → 根占港 → 指宿港

ROUTE 2 本土最南端 佐多岬と神川大滝公園

山川港 → 根占港 → 佐多岬 → 佐多岬(区) → 神川大滝公園 → 神川大滝公園 → 根占港 → 指宿港

ROUTE 3 本土最南端 佐多岬と雄川の滝

指宿港 → 根占港 → 佐多岬 → 佐多岬(区) → 雄川の滝 → 雄川の滝 → 根占港 → 指宿港

ROUTE 4 宇宙開発の拠点内之浦を訪ねる

山川港 → 根占港 → 岸良展望所 → 内之浦宇宙空間観測所 → 内之浦宇宙空間観測所 → 西平山上陵 → 笠ヶ原IC → 加治木JCT

ROUTE 5 日本最大級のばら園を訪ねる

山川港 → 根占港 → 流平大滝 → 流平大滝 → かのやばら園 → かのやばら園 → 根占港 → 指宿港

ROUTE 6 たるみず・かのやー巡り

鴨池港 → 垂水港 → 猿ヶ城深谷 → 猿ヶ城深谷 → 鹿屋(鹿屋地区) → 鹿屋(鹿屋地区) → 根占港 → 指宿港



大隅半島の大自然を前にすると、その威圧感を覚えるほどのダイナミックさに、言葉では言い表せないほどの感動を覚える。対岸に望む薩摩半島とは、実は阿多カルデラでつながっている、開閉岳を西端に、南大隅町の海岸沿いの跡の断崖を東端に、巨大な火山活動の跡が残っている。大地を割ったような地形にも納得！打ち寄せる荒波が、地球の躍動を感じさせる本土最南端の佐多岬、巨大な神川大滝、雄川の滝、巨大な岩盤を川が流れる花瀬自然公園など、大隅の自然には圧倒されるばかり。夕暮れ時、対岸に望む開閉岳のサンセットも実に美しい。

~大隅のダイナミックな自然~

猿ヶ城深谷 森の駅たるみず キャニオニング体験

猿ヶ城深谷で、身体ひとつで流れるアクティビティ、いつも頑張っている自分のココロとカラダにキャニオニングでご褒美を!

住所/鹿児島県垂水市新御堂1344-1
電話/080-9248-1903



悠久の森自然散策体験

悠久の森、大川原峽、桐原の滝、三連轟、溝ノ口洞穴、花房峽など

P46 参照

清流と緑あふれる豊かな森に包まれて、マイナスイオンを感じながらガイドと一緒に散策。道端に生えている植物の話聞きながら、歩いた後は手作り弁当を食べて元気になろう!

体験受付/曾於市観光特産開発センター
住所/鹿児島県曾於市財部町下財部5782-3
電話/0986-28-0111

大隅と薩摩をつなぐ海之道

錦江湾をぐるりと囲む鹿児島県。西に県都「鹿児島市」のある薩摩半島。そして、東に自然豊かな大隅半島が囲み、曾於市、志布志市と大隅地域が続いている。大隅半島へのアクセスは、陸路は高速道路とつながっている大隅縦貫道、そして海路で薩摩半島とつながっている。

最も北の海路は鹿児島港と垂水港をつなぐ桜島フェリー、所要約15分で海を渡る事ができる。

次に鹿児島新港と垂水港をつなぐフェリーは、約40分。垂水港は鹿屋市まで車で30分。そして、南の航路はフェリーなんきゅうを使った航路があり、指宿港と山川港の二つの航路がある。

平成29年4月1日に指宿港-根占港間に「高速船なんきゅう10号」が就航し、薩摩半島と大隅半島が劇的に近くなった。高速船の運航本数は1日4往復(8便)で、指宿港から根占港間の所要時間は、



わずか20分。例えば、根占港を始発の8時40分に出発すると、錦江湾を横断し、9時00分には指宿港に到着する。さらに、JRを使えば、根占港から約1時間40分程度で鹿児島中央駅に行けるようになった。さらに、ギリギリまで大隅半島の旅を楽しむことができるようになった。

さらに、高速船は、自転車も積むことができるので、サイクルロードとしても美しい景観が楽しめる大隅路を走ることができ、大隅半島の旅の選択肢が増え、ますます楽しくなることは間違いない。

*運航時刻は平成29年7月1日からの時刻です。

OSUMI TRIP

この夏 まだ見ぬ 「ずんくじら」

海を渡る 大隅の旅



JAXA内之浦宇宙空間観測所

太平洋を見下ろす山頂にある現代科学の粋を集めたロケット打ち上げ施設。施設内は見学可能で、宇宙科学資料館では、ロケットのしくみや宇宙研究の歴史などを学ぶことができる。

住所/鹿児島県肝属郡肝付町南方1791-13
電話/050-3362-3111

川上中学校

昭和24年に建造されたままの姿を残す川上中学校は、どこか懐かしく、貴重な遺構は、国の登録有形文化財に指定されている。見学の際はお問い合わせを。

住所/鹿児島県肝属郡肝付町後田6339
電話/0994-65-7807 (川上やまこ館)

ホテル ポラリス

■住所/鹿児島県志布志市 志布志町志志3-2-11
■電話/099-471-1200
■FAX/099-471-1201
http://polaris.shimazu.co.jp

●朝食・駐車場が無料!
(大型バス収容可)

●全室LAN接続可
(パソコンはご持参下さい)

村山製油

■住所/鹿児島県肝属郡東串良町岩弘2640-1
■電話/0994-63-2064
■FAX/0994-63-3332
■営業/8:00~18:00 ■定休日/不定休

東串良物産館 ルビノンの里

■住所/鹿児島県肝属郡東串良町 池之原2608-1
■電話/0994-62-0831
■営業/9:00~18:00 ■定休日/12月31日~1月2日

国道220号沿いにある、緑と黄色の外観が目印の物産館。東串良、串良、大崎、志布志、有明、鹿屋、肝付から新鮮野菜や果物が届き、お花も安く売られて長持ち。黒毛和牛、黒豚味噌、菜種油、ドレッシング、ソフトクリームも好評販売中。

道の駅 錦江にしきの里

■住所/鹿児島県肝属郡錦江町神川13306-18
■電話/0994-22-0831 ■営業/8:30~18:00
■定休日/12月31日~1月3日

地元生産者が力を合せて立ち上げた物産館。国道269号沿いあり、目の前には錦江湾が広がる。店内には自産の農産物や加工品がズラリと並び、定番商品のほか、季節限定の物産品や新商品もある。何度でも訪れたくなる、おススメの旅のスポット。

来館者200万人突破

いつでも元気な 笑顔のスタッフのみなさん